

巴会関西支部・名工大OB有志とご家族 第2回海外同窓会のご報告

巴会関西支部 世話人 福竹泰彦(M43)

- <実施時期> 平成 25 年 10 月 18 日(金)～22 日(火)(ホテル 3 泊 帰り機内 1 泊)
 <行先> クアラルンプール(マレーシア首都)とマラッカ(世界遺産古都)
 <気候> 10 月の気候は 最高気温 32℃ 最低気温 23℃ 雨天 16 日/月
 <航空会社> マレーシア航空
 <宿泊ホテル> パークロイヤル・クアラルンプール
 *内装がスタイリッシュ *最終日(4 日目)チェックアウト 15:00
 *国内最大規模のショッピングセンター ブキッ・ビンタン通りまで徒歩圏内
 *JTB クアラルンプールアジアデスクの近く

- <所要時間> 往: 6 時間 40 分 復: 6 時間 30 分 時差⇒1 時間遅れ *下線部分は現地時間
 <日程>

- 18 日(金) 11:00 関空発→16:40クアラルンプール着→19:00ホテル到着→20:00～夕食
 19 日(土) 市内 1 日観光 王宮→国立回教寺院→独立記念広場→KLタワー→昼食
13:00～自由行動(企画中)
18:30～夕食マレー料理とマレーシア民族舞踊鑑賞→21:30ホテル着
 20 日(日) 世界遺産古都マラッカ 1 日観光
 往復 280 km/約 5 時間(往復マレー鉄道に片道 2 時間 15 分乗車)
昼食名物ニョニャ料理→18:30～夕食スチームボート→20:00ホテル着
 21 日(月) オプションツアー 09:00～12:00 バツ洞窟→ロイヤルセラゴーン工場
 (錫製品)→パティック工房→12:00～13:00 昼食→13:00～自由行動
 (15:00チェックアウト)→20:00ホテルより空港へ出発→
23:45クワラルンプール発
 22 日(火) 07:15 関空着 解散 お疲れ様!

- <交流会> 現地在住の姫路西高同窓と懇談。
 <費用> 約 16 万円(全部食事付・オプションツアー付) + 海外旅行保険 8,180 円(一例)
 <コメント> 何度も訪れたい新旧の文化が混在し調和するクアラルンプール(Kuala Lumpur)。
 クアラルンプールとはマレー語で「泥の川の合流地」という意味。19 世紀の半ばに、錫鉱山が発見されて、錫の採掘集積の拠点、華僑の街、イギリスのマレー植民地政策の中心地として発展を始めた。独立後はマレーシアの首都として政治、経済成長の中樞を占めてきた。縮めて KL(ケイエル)と呼ばれることが多い。1896 年、イギリスの植民地政策によって、ペラ、ネグリ・セビラン、パハン州とともに、セランゴール州をマレー連邦に統合し、クアラルンプールがその首都に決定。1957 年マラヤ連邦がイギリスから独立、1963 年にはマレーシア連邦が誕生、クアラルンプールは首都として国の政治・行政・経済の中心となった。マレーシア 4 代目マハティール・ビン・モハマド首相(1981～2003)はルックイースト政策で有名。現首相 ナジブ・ラザクは 6 代目(2009～)。マレーシア人口は 2,746 万人(マレー系 65%・中国系 25%・インド系 8%・その他 2%)、面積は日本の 0.9 倍。シンガポールの独立は 1965 年、人口は 508 万人(華人系 75%・マレー系 14%・インド系 9%・その他 2%)、面積は東京 23 区とほぼ同じ。
 <参加者> 9 名⇒M43 鳥居太始之 M43 堀内満 M43 福竹泰彦 M45 掛田健二 M45 土居俊一
 M46 松永純二 M58 筒井真作 筒井啓子 廣部順子 ←ご家族
 <世話人> M43 福竹泰彦